

崩壊熱評価W.G.サブグループ会合議事録

日 時 昭和 56 年 12 月 10 日 13:30 ~ 17:20
場 所 原研東海研究所 研究 2 棟 222 室
出席者 中嶋(法大), 吉田(NAIG), 田坂, 片倉, 松本(原研)
橋(早大:オブザーバー)

議 題

1. 報告書の作成について

総合報告書の構成, およびその一部について田坂氏より説明があり, 項目別の担当者を決めた。実験データの収集や, 評価計算を必要とするものについては, 田坂, 秋山, 井原の間で作業を進める。

2. 遅発中性子放出確率の評価

データの現状および Systematical な評価について中嶋より説明があった。吉田氏が fitting parameter を決めるプログラムを作り, 松本が Janecke - Garvey - Kelson の質量表から $Q\beta$, S_n を計算する。今後の作業を中嶋, 吉田, 松本が協力して進める。

3. 遅発中性子射出確率計算の新しい方法

上記について, 橋氏が11月の核データ研究会のコメントの内容をより詳しく説明した。非常に興味のある方法であるが, それがマジック近くの特別な原子核にしか適用できないことから, 必要とする多くの FP 核種にこの方法を使う訳には行かない。この他に β の大局的理論を用いた評価の可能性と問題点を議論したが, 実行のためにはいろいろ問題が残されており直ぐに評価にかかるという状態でないことを認識した。